

生物資源分野

研究領域

「生物資源の持続可能な生産と利用に資する研究」

採択年度	2021年	研究期間	5年間
研究課題名	稲の安全性と高栄養価に貢献する育種および水管理技術の開発	貢献する主なSDGs	  
研究代表機関	東京大学 大学院農学生命科学研究科		
相手国	Bangladesh人民共和国	主要相手国研究機関	Bangladesh農業大学
研究課題の概要			
<p>本研究は、 Bangladeshのコメの栄養価の向上および毒性元素の蓄積低減を可能にする育種および栽培技術を当該国において構築し、これらの技術を Bangladeshに定着させることを目的としている。コメに含まれる微量必須元素（鉄、亜鉛）を増やしたイネや、毒性元素（カドミウム、ヒ素）を蓄積しにくいイネの作出のための育種素材およびDNAマーカーの確立と普及、また、毒性元素を減らす栽培法の確立と普及を目指す。さらに、当該技術を担う人材育成を政府や民間企業と連携し進めることにより、本研究の成果の社会実装を目標とする。本研究により得られる成果は、 Bangladeshのみならず、コメを主食とする世界各国の食品安全および栄養問題の解決に貢献する。</p>			